

リハビリ通信

研修会の開催報告② 「運動発達と評価」のテーマで実施しました！



11月22日(水)、島田療育センターはちおうじの理学療法士 黒川洋明先生をお招きし、「運動発達と評価」というテーマで研修会を実施しました。当日はリハビリテーション科のスタッフに加えて、センター内のさまざまな職種も含め、計30名の参加者がありました。

講演は、はじめに先生より自己紹介をいただいた後、「運動発達」の捉え方について説明がありました。

次に、それを踏まえ「私たちが(重症心身障児・者の方に)できることは何か」をお話いただき、最後にいくつかの「評価」法について、講義をしていただきました。

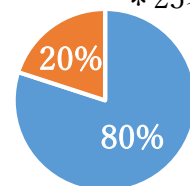
講義は、小児分野のリハビリテーションに関する最新の情報が随所に盛り込まれ、専門的で、且つどの職種が聴いても分かりやすい内容で、2時間があっという間でした。先生が日々実践されている具体的な理学療法場面も多く紹介され、お子さんの興味を最大限に引き出しながら、楽しく訓練をされている様子はとても印象的でした。また、紹介いただいた GMFM (Gross Motor Function Measure: 粗大運動能力尺度) は、リハビリの目標設定や効果判定にとっても有効とのことで、大変興味深く感じました。今回学んだ内容は、今後の実践にしっかりと活かしていきたいと思えます。今後もリハビリテーション科では、定期的に研修会を開催し、日々の臨床に役立てられる知識を更に吸収しながら、科全体のレベルアップを図っていききたいと思えます。

【アンケート結果】*抜粋

- *評価法だけでなく運動発達や実践例があり、参考になった。
- *決めつけないで対象者の可能性を信じること、やってみることが大事だと思いました。
- *リハビリにおける評価はとても重要なので、よい研修会でした。
- *発達についての考え方、日々の仕事への向き合い方について、あらためて考えるよい機会になりました。
- *子どもたちが社会とのつながりを持ち、輪に入れるようサポートしていきたいと思えました。

(研修の満足度)

*25名より



■ 大変よかった ■ よかった